

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：中部地方整備局 建政部 都市整備課

担当課長名：筒井 祐治

事業名	はしま おおがきいちのみやせん 羽島都市計画道路 大垣一宮線	事業区分	街路	事業主体	岐阜県
起終点	自：岐阜県羽島市舟橋町 至：岐阜県羽島市江吉良町	延長			0.8km

事業概要
本路線は、JR東海道新幹線岐阜羽島駅北東に位置し、大垣市と愛知県一宮市を結ぶ幹線道路である。当該路線のうち、岐阜羽島インターチェンジや岐阜羽島駅へのアクセス機能を果たす約2.7kmの区間について、昭和49年から2車4車線化を街路事業として順次整備してきたところである。そのうち、当751mの区間においては名鉄竹鼻線の踏切が道路交通のボトルネックとなっているため、街路事業と併せて鉄道を高架する立体交差事業を実施することにより関連市道を含めて東西交通の円滑化を図るものである。

H7年度事業化	S31年度都市計画決定 (H8年度最終変更)	H8年度用地着手	H11年度工事着手
---------	---------------------------	----------	-----------

全体事業費	約85億円	事業進捗率	86%	供用済延長	610m
-------	-------	-------	-----	-------	------

計画交通量	27,874台/日
-------	-----------

費用便益比	B/C 2.7	総費用	92億円 事業費：91.47億円 維持管理費：0.61億円	総便益	247億円 走行時間短縮便益：5.44億円 走行費用減少便益：239.92億円 交通事故減少便益：1.75億円	基準年	平成16年
-------	------------	-----	-------------------------------------	-----	--	-----	-------

事業の効果等
都市交通の円滑化
 ・ 交通容量の増加（2車線4車線化）
 ・ 大垣一宮線の踏切遮断時間の解消（1.4h/日→0h/日）
 踏切事故の解消
 ・ 関連市道を含めた踏切除却数（3箇所）

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
当路線において、交通量が増大しており、（道路交通センサスペースH12/H9比：1.11）踏切というボトルネックの早期解消が望まれている。

事業の進捗状況、残事業の内容等
一部において用地補償協議が難航し、名鉄高架工事の工事着手までに時間を要したが、平成17年度中に名鉄高架及び大垣一宮線本線工事が完了する予定である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
平成17年度末大垣一宮線の全区間供用開始予定。

施設の構造や工法の変更等
他事業との工程調整により仮設工事費においてコスト縮減を図っている。

対応方針：事業継続

事業概要図